

一般社団法人静岡県測量設計業協会

第512回 理事会議事録

日時 令和元年6月21日(金) 13:30～16:20

場所 (一社) 静岡県測量設計業協会会議室

出席者 (理事) 藤山義修、鈴木達美、山村卓道、宮島直久、亀谷寧一
近藤拓己、小澤和宏、鈴木正明、松井藤雄、望月良明
(監事) 鶴田忠男

理事10名全員が出席し、定款第32条第1項による定足数に達している。

議長 定款第31条第1項の規定により、藤山義修会長が議長となる。

議事経過の概要とその結果

議題1. 2020年日本学校農業クラブ全国大会(平板測量競技会審査員の協力)について

県農地局細野英彦課長代理、大会事務局長竹川暢昭県立静岡農業高等学校校長、県立天竜高等学校吉田満奈美教諭他1名が来局して、令和2年度静岡大会の概要説明、7月25日天竜高校で開催するプレ大会(静岡県代表選抜)の説明があり、この大会への視察依頼と11名の審査員の選出(全体40名程度、県20名、土地改良連合会10名、静測協10名)を依頼された。

理事会は、協議の結果、藤山会長のほか審査員10名を東部3名・中部4名・西部3名とし、後日各支部長から報告することと、担当を亀谷技術委員長として名簿を作成し、この中から各支部1名以上の代表を7月25日のプレ大会に派遣することです承した。

議題2. 第1回 社長研修会開催(案)検討について

当番支部である山村副会長から宿泊場所を焼津の松風閣か焼津グランドホテルとすること、講師は(有)二葉測量設計事務所の泉地さんが交渉しており出席可能である報告があった。

また、望月事務局長からは研修会開催要領案の説明があり、講師の具体的な内容や理事らの指摘を修正して会員に知らせていくことで理事会は承認した。

議題3. 機関誌「静測協2020新年号」等の広報の検討について

望月事務局長から編集計画(案)の説明があり、表紙は地図教室を開催した三ヶ日西小学校がドローンによる人文字撮影を提供してくれる約束が取れた

ことで、理事会は了承した。

また、国の出先事務所長の挨拶は1番として静岡国道事務所とし、2番を沼津河川国道事務所とする。

首長は長泉町に打診して承諾してくれたらお願いすることで、理事会は了承した。

また、会員からの寄稿文は不二総合コンサルタント(株)、新日本設計(株)となり、「会員の頁」の原稿ルールを説明して、理事会はこれを了承した。

議題4. 第1回技術講習会の日程と内容について

望月事務局長から、これからの技術講習会は10月初旬の定例として、今年度は(公社)日本測量協会中部支部との共催で1日の開催とし、午前が県交通基盤部職員講師による2題と、午後は亀谷委員長が選定した日測協のビデオ研修3題である説明があった。

理事会から講義内容が測量系と設計系に分かれていると指摘があり、今年度は試行として行うことで了承した。

議題5. 2月の独占禁止法遵守研修会等について

望月事務局長は、今年は1日の研修として午前中は独占禁止法遵守研修会、午後は「働き方改革」の研修会を行う説明をした。

また、午後の部は、東日本建設業保証(株)の協力による外部講師による全て無料の対応であるため、講師の予定に合わせた日程としたい説明があり、理事会はこれを了承した。

議題6. 熊本・鹿児島県測協との意見交換会及び県交通基盤部との災害に関する事前打合せ

望月事務局長から県交通基盤部とは事前に対応策等話し合うことが決まり、後日日程と、協会側参加者の調整を行う説明があった。

また、熊本・鹿児島県測協との会合を10月末から11月上旬に行うことで藤山会長から打診してもらうこと。宿泊地等は東部のため、鈴木副会長の担当で行うことを説明し、理事会は了承した。

また、望月事務局長から熊本・鹿児島県測協との意見交換会を隔年で行う提案があり、理事会はこれを検討事項とした。

議題 7. BCP の策定状況について

望月事務局長から会員の BSP 策定状況の説明があり、県建コン協を含め 63 者中回答は 23 者であり、計画を策定していると策定中は合わせて 16 者であり、回答数や策定が非常に低く、今後の対応の相談があった。

理事会は、検討した結果、今後会員からの開催要望や県からの要請があった場合に、対応を検討することで了承した。

議題 8. 協会運営合理化検討（旅費規定の改正、慶弔費に関する申し合わせ）

望月事務局長から協会の運営の経費節減の説明があった。

旅費規程については、事務局長と事務局員の 2 人の日当の廃止について今後、正副会長会議に諮っていくことで、理事会は了承した。

慶弔費に関する役員会申し合わせについては、3 の傷病見舞金と 5 の感謝状と記念品は、来年度から廃止することを理事会は承認した。

議題 9. 協会運営合理化検討（「土木積算 S・E」講習会等の手数料に関する規定の検討、研修会等の費用負担）

「土木積算 S・E」講習会等の手数料に関する規定の改定について、望月事務局長から提案説明があった。

理事会は、県交通基盤部建設技術企画課の了解を得てから検討することを了承した。

研修会等の費用負担（会場費・印刷製本費・講師派遣料等）について、望月事務局長から現状と今後の対応の説明があった。

理事会は、共催であれば費用負担を求めることで、了承した。

事務局は、今後、他の団体の事務局と費用負担の話をしていく。

議題 10. 文書管理の適正化

望月事務局長から協会事務局内にある文書の適正な管理の提案があった。

理事会は、次回までに各会員のところの対応を用意すること、会計関係は鍋田監事からもらうことで了承した。

報告

1. 清水港開港 120 周年記念事業について

望月事務局長は、第 4 回幹事会の説明と今後の予定について会長代理である(株)建設コンサルタントセンター吉本氏に出席依頼することを報告した。

2. 県立科学技術高等学校のインターンシップについて

望月事務局長は、学校からのインターンシップ実施の通知文を報告した。

3. 全測連定時総会について

会長代理として参加した山村副会長から報告がなされた。

4. 伊豆の国市との「土木積算 S・E 選定要領」に関する覚書締結について

望月事務局長は、6月5日に覚書を交わしたこと、今後、県建設技術企画課に市の申請書類等が受理されれば、電算帳票業務委託が増えることを報告した。

5. 建産連会長表彰と定時総会について

望月事務局長は、元会長の根本氏などの表彰者及び総会の経過を報告した。

6. 中部地方整備局・交通基盤部関係者との意見交換会テーマについて

望月事務局長は、会員から意見テーマを6月14日までに集め、6月21日の合同委員会の企画委員会で、締切が7月8日の「国の意見テーマ」2題を提出したい旨報告した。このうち1題は、文章を再確認して提出することとした。

また、「県の意見テーマ」は7月16日に第2回企画委員会を開催してまとめていくため、まとまり次第理事会に諮ることを報告した。

望月事務局長は、国土交通省中部地方整備局県内事務所と県内建設関連業3団体との意見交換会の内容と質問について報告した。この質問回答結果が県建コン協から入手次第、会員に報告する。

7. 県補助金人材確保対策事業効果を含めた報告について

望月事務局長は、県へ事業効果報告書を6月3日に提出したこと。

また、建通新聞社へ5月13日に支払いを済ませた報告をした。

8. 全測連中部地区協議会第1回役員会及び合同講演会等の開催について

望月事務局長は、7月17日のスケジュールと役割を説明した。

9. 行事予定について

望月事務局長は、行事予定表を基に主な日程を報告した。

10. その他

- ・団体概要調書の中で、資格者数がまとまったので報告した。
- ・地図教室の25日川根小学校、28日松崎小学校の予定を報告した。
- ・「土木積算S・E」講習会の日程等を説明した。
- ・建産連のまちづくり2019ふれあいイベントには不参加で報告する。

11. 県交通基盤部長縄理事から業務委託表彰制度の見直しの説明

長縄理事と松井工事検査課長が来局し、3年間で踏まえ制度の見直しについて、長縄理事から理事会に説明があった。

今年度の表彰式にはペーパーで配布予定であるが、当初、表彰件数30件を想定したものが20件を下回るようになったので、運用で見直しをする。

見直しでは、土木事務所の選出緩和、他の理由からの取りやめをなくし16部門別とする。部長表彰も行うことなどの説明があった。

以上の議事が正確であることを証するため、定款第33条第2項の規程により、出席した会長及び監事が記名押印する。

令和元年8月6日

会 長

代表理事

藤 山 義 修 ⑩

監 事

鶴 田 忠 男 ⑩